

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 5月 14日

事業所名

IQLino江坂校

|             |    | チェック項目   | はい   | いいえ | 工夫している点                                       | 課題や改善すべき点を踏まえた<br>改善内容又は改善目標                            |
|-------------|----|--|------|-----|---|---|
| 環境・<br>体制整備 | 1  | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である                                  | 83%  | 0%  | 適切である   |   |
|             | 2  | 職員の配置数は適切である   | 67%  | 33% | 人員の不足時には適宜、事業所間で融通している                        | 人員の過不足に状況に踏まえ、事前に不足の共有、採用の強化を行う                         |
|             | 3  | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている                           | 83%  | 17% | 物件選定時にバリアフリー状況の確認をしている                        | 物件オーナーに声かけ、検討を促していく                                     |
| 業務改善        | 4  | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している                | 50%  | 50% | 業務効率化に伴うシステム導入を段階的に検討、取り入れている                 | 個々の業務目標の滞りのヒヤリングを行う                                     |
|             | 5  | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている     | 83%  | 17% | 集計内容をもとに改善目標としている                             | 評価表をもとに問題点を集計し、次回の改善点として社内検討にあげる                        |
|             | 6  | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している                           | 83%  | 17% | 自社HPでの公開                                      | 公開していることを前スタッフに改めて案内                                    |
|             | 7  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている                             | 67%  | 33% | 外部評価基準をもとに業務見直しを行っている                         | 優先順位をつけて行っており、未対応箇所もみられる                                |
|             | 8  | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している                                | 100% | 0%  | 自社および他社の研修機会の提供している                           |   |
| 適切な支援の提供    | 9  | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | 67%  | 33% | アセスメント作成時には専門スタッフの意見も踏まえた分析もおこなっている           | 社内でのケース会議、検討会を実施をより強化する                                 |
|             | 10 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している                 | 50%  | 50% | 全校共通のシートを使用している                               | 適宜見直しを行い、グレードの見直しを行う                                    |
|             | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っている                                       | 50%  | 50% | ブランドごとにチームで検討、ブラッシュアップを行っている                  | スタッフごとの理解度のチェックをより強化                                    |
|             | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している                                     | 83%  | 17% | ブランドごとにチームで検討、ブラッシュアップを行っている                  | スタッフごとのスキルにより教育を強化                                      |
|             | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している                         | 100% | 0%  | 支援時間や支援計画により細かな設定を行っている                       |   |
|             | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している            | 83%  | 17% | 支援時間や支援計画により細かな設定を行っている                       |   |
|             | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している             | 50%  | 50% | スタッフの専門性やスキルにより、支援内容や役割分担の確認を行っている            | 勤務シフトによっては専門スキルのあるスタッフとの打ち合わせができない場合もあるため、事前に前もって時間を設ける |
|             | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している        | 50%  | 50% | 支援終了後に当日、またはよく利用前には支援の内容を振り返り、必要に応じて内容を改定している | 利用が続くお子さんが飽きのこないような、小さなプログラム改定を検討                       |
|             | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている                    | 83%  | 17% | 日々の支援記録の記載は徹底している                             | 漏れ、似たような記録にならないように、記録の方法を引き続き指導していく                     |
|             | 18 | 定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している                   | 67%  | 33% | 利用児童のモニタリングを定期的実施している                         | 不定期利用時のモニタリング頻度をあらかじめ最適な期間を設定                           |
|             | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせることで支援を行っている                         | 67%  | 33% | 5領域等のガイドラインに沿った支援を行っている                       | ガイドラインから逸脱しないようにスタッフの教育面を強化する                           |

|                      |    |   |     |     |  |                                 |
|----------------------|----|---|-----|-----|--|---------------------------------|
| 関係機関<br>や保護者との<br>連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している                     | 83% | 17% | 子どもの状況を理解したものが在籍                               |                                 |
|                      | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている | 83% | 17% | 利用者との状況共有等複数の連絡方法で適切に行っている                     | オンラインサービスも駆使してアクセスしやすいシステムを検討する |
|                      | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている                             | 33% | 50% | 提携医療先だけでなく、訪問医療など複数の連絡先、支援先を確保している             | 医療的ケア時の利用はない                    |
|                      | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている                | 83% | 17% | マンスリー等で支援内容など情報共有をおこなっている                      | 訪問支援強化による連携強化を検討                |
|                      | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している     | 33% | 50% | 移行支援などを利用して一部情報共有を行っている                        | 訪問支援強化による連携強化を検討                |
|                      | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている                          | 67% | 17% | 基幹センターの連携を行っている                                | 基幹センターの研修等あれば積極的に参加             |
|                      | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある                                 | 33% | 67% | ある   | 地域連携強化すために、地域の行事にも参加をしていく。      |
|                      | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している   | 33% | 50% | 必要に応じて参加している                                   | 協議会とのつながり強化により積極的な機会を模索         |
|                      | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている                        | 83% | 17% | 日々の支援内容を話す機会がある                                | 忙しい保護者のために簡潔に伝えられる仕組みを検討        |
| 保護者への<br>説明責任等       | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている                       | 83% | 17% | 保護者の学びの提供により相互からの支援を促す                         | 一部事業所でペアトレを行うが、その情報・方法を展開予定     |
|                      | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている                                      | 67% | 17% | 行っている  | 5領域対応に合わせて再度案内予定                |
|                      | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている                              | 17% | 67% | 子育てに関するものは現時点で専門の窓口はない。質問を集め、オンライン形式で回答にとどめている | サービスとして窓口設置を検討している              |
|                      | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している                          | 67% | 17% | イベントとして行ったり、交流となる機会を提供                         | 数が多くないため、今後数を増やしていくことを検討        |
|                      | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している    | 50% | 17% | 教室内で共有、部署の長で取りまとめを行っている                        | 社内全体で改善するための仕組みの構築              |
|                      | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している                      | 83% | 0%  | 月一回の報告書面で案内                                    |                                 |
|                      | 35 | 個人情報に十分注意している   | 83% | 0%  | Pマーク取得基準に沿って運用                                 |                                 |
|                      | 36 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている                                  | 17% | 50% | 一方通行になりがちな情報伝達をより双方向型に変更していく必要がある              | 日々のコメント以外ヒヤリング機会の準備             |
|                      | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている                                    | 67% | 17% | 事業所イベントを企画し、地域住民にも案内                           |                                 |

|         |    |  |     |     |                 |                                  |
|---------|----|--|-----|-----|-----------------|----------------------------------|
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している                                | 50% | 17% | 行っている           | 改定ごとに周知、スタッフの読み合わせを行う            |
|         | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている   | 67% | 17% | 年間計画に合わせて実施している |                                  |
|         | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている   | 50% | 17% | 年間計画に合わせて実施している |                                  |
|         | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | 33% | 33% | 行っている           | 周知徹底するために再度スタッフ間で意識合わせを行う        |
|         | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている   | 17% | 50% | 行っている           | 飲食は提供していないが、ヒヤリング等で事前に情報取得を行っている |
|         | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している  | 33% | 33% | 行っている           | 事業所内だけでなく、社内全体で共有していく            |